

2025年度（R7.4.1～R8.3.31）

学校法人 福岡成蹊学園

事業報告書

1 法人の概要

学校法人福岡成蹊学園は、福岡外語専門学校を設置する学校法人です。1902年「福岡裁縫女学校」の開学から校名変更合併等を経て1973年「学校法人福岡成蹊学園川島女子専門学校」となりました。1984年、新たに「福岡外語専門学校」を設立し、「川島女子専門学校」は1991年に「福岡国際コミュニケーション専門学校」と校名変更をしました。2018年に「福岡国際コミュニケーション専門学校」と「福岡外語専門学校」の2校は統合し「福岡外語専門学校」となり現在に至ります。

当学園では、「体験を通じて学ぶ」ことを基本方針とし、語学学習と並行して、インターンシップ、職場体験、海外留学、ボランティア活動など、実践的な学びの機会を提供しています。これらの体験を通して、学生が主体的に将来を見据え、自らのキャリアや人生設計を描く力を育むことを目指しています。学生一人ひとりが大きな夢や希望、明確な目標を持ち、それに向かって果敢に挑戦していけるよう、日々の教育活動を通じて支援・指導を行っています。

(1) 設置する学部・学科・コース

設置する学科、コース、入学定員、総定員、学生数は下記のとおりです。
2025年度は、総定員730人に対し年度開始時最大数792人が在籍し、定員充足率は108.5%でした。

学科	コース	入学定員	総定員	2025年度 収容実績
英語科		50人	100人	85人
国際文化科	進学1年コース	20人	20人	58人
	進学2年コース	40人	80人	47人
国際ビジネス科	国際ビジネスコース	85人	170人	219人
	国際キャリアコース			21人
国際ホテル科		40人	80人	82人
日本語科	1年コース	150人	280人	280人
	1.5年コース			
	2年コース			
計			730人	792人

(2) 役員・評議員・教職員の概要

2026年度4月1日現在の本学園役員及び評議員等並びに教職員の概要は次のとおりです。

理事名簿

区分	職名	氏名
理事長・校長	理事	岩本 仁
理事会選任	理事	岩本 功
理事会選任	理事(学外)	久保 慎一郎
理事会選任	理事(学外)	野田 昇宏
評議員会選任	理事	水島 香苗

監事名簿

区分	職名	氏名
評議員会選任	監事	倉重 一男
	監事	廣田 稔

評議員名簿

区分	職名	氏名
理事会選任 教職員	評議員	岩本 順子
	評議員	堀 恭子
理事長専任 学識経験者	評議員	栗栖 慎治
	評議員	末松 大和
評議員会選任 卒業生	評議員	松山 僚佑
	評議員	佐藤 かえで
	評議員	田籠 瑠子

学校関係者評価委員会名簿

区分	職名	氏名
教職員	学校関係者評価委員	岩本 仁
教職員	学校関係者評価委員	山本 寛
教職員	学校関係者評価委員	堀 恭子
校長等	学校関係者評価委員	竹下 徹
業界関係者	学校関係者評価委員	友杉 隆志
業界関係者	学校関係者評価委員	徳丸 順一
卒業生	学校関係者評価委員	田籠 瑠子
保護者	学校関係者評価委員	畠山 尚幸
地域住民	学校関係者評価委員	河津 善博

教育課程編成委員会「国際ホテル科」名簿

区分	職名	氏名
学校長	教育課程編成委員	岩本 仁
副校長	教育課程編成委員	山本 寛
法人本部長	教育課程編成委員	堀 恭子
国際ホテル科学科長	教育課程編成委員	多田 美紀子
国際ホテル科主任	教育課程編成委員	重藤 未成
学識経験者	教育課程編成委員	牧 一郎
企業等の役職者	教育課程編成委員	小野 聡之
業界関係者	教育課程編成委員	友杉 隆志

教育課程編成委員会「国際ビジネス科」名簿

区分	職名	氏名
学校長	教育課程編成委員	岩本 仁
副校長	教育課程編成委員	山本 寛
法人本部長	教育課程編成委員	堀 恭子
国際ビジネス科学科長	教育課程編成委員	水島 香苗
国際ビジネス科主任	教育課程編成委員	渡邊 健司
学識経験者	教育課程編成委員	藤野 真
学識経験者	教育課程編成委員	植上 一希
企業等の役職者	教育課程編成委員	小林 雄平
業界関係者	教育課程編成委員	岡田 幸治

2 事業の概要

2025年度、当学園が行った取り組み及び実績は次のとおりです。

『進学及び就職状況、交換留学等状況』

■進学実績

英語科	12人	31.6%
国際文化科1年 進学コース	28人	82.4%
国際文化科2年 進学コース	21人	87.5%
国際ビジネス科(現国際ビジネス科) 国際ビジネスコース ※本コースは就職を主とする	19人	17.8%
国際ビジネス科(現国際ビジネス科) 国際キャリアコース ※本コースは就職を主とする	0人	0%
国際ホテル科 ※本コースは就職を主とする	2人	4.2%
日本語科	135人	67.4%

■就職実績

本校では、学生一人ひとりの希望や適性に合った進路選択を支援するため、個別面談を実施し、きめ細やかな進路指導に取り組んでいます。

また、授業においては、履歴書の作成指導や模擬面接、SPI対策など、実践的な就職支援プログラムを展開し、学生が就職活動に必要なスキルを習得できるよう支援しています。さらに、校内にて企業を招いた「会社説明会」を開催し、学生が業界の現状や企業の採用動向を直接把握できる機会を設けています。これにより、学生自身が今後の進路を主体的に検討・決定するための一助としています。

英語科	12人	31.6%
(旅行業界、空港勤務、ホテル業界 等)		
国際ビジネス科 国際ビジネスコース	84人	78.5%
(空港、運輸、ホテル、人材派遣、製造、小売 等)		
国際ビジネス科 国際キャリアコース	12人	85.7%
(食品加工、製造、ホテル、貿易、プラント 等)		
国際ホテル科	43人	91.6%
(ホテル・旅館業界 等)		
日本語科	16人	11.8%
(教育支援関係、人材派遣 等)		

■交換留学・海外編入・海外訪問等

本校では、より多くの学生が海外での学びを経験できるよう、海外提携校との連携を通じて、短期留学プログラムを提供しています。これにより、学生は費用負担を抑えつつ、休学することなく留学を実現することが可能となっています。また、海外提携校への編入を希望する学生への支援も行っており、さらには、海外インターンシップや現地学校の訪問等を通じて、学生が多様な文化や言語に触れる機会を積極的に提供しています。今後もグローバルな視野を育むことを目的とした国際交流を推進していきます。

2025年度実績	国	期間	参加人数
海外大学編入 (提携校)	タイ Rangsit University	2.5年間	1
短期留学 プログラム	フランス	4週間	6
	ニュージーランド	4週間	4
	マレーシア	4週間	2
	フィジー	4週間	2
	フィリピン	5週間	3
	中国	4ヵ月	1
	タイ	3週間	3
	アメリカ	2週間	1

『学校の取り組み』

■学生サポート、支援

○多彩な交流イベントの実施

学生間の交流促進と異文化理解、多様性の尊重、人間力の育成を目的として、合同授業やレクリエーションを多数実施しました。楽しみながら他者との関わりを深めることで、互いの文化や価値観への理解を深める機会となりました。

○成果発表会の実施

各学科において、英語スピーチ大会、日本語音読発表会、ビジネススピーチ大会、ならびに成果発表会を開催し、学生が日頃の学習成果を披露する場を設けました。優秀な発表者には表彰を行い、学生の学習意欲およびモチベーションの向上につなげました。

○奨学金の支給

学業や生活態度において特に優れた学生に対して奨学金を支給しました。これは、学生の努力を評価・支援するとともに、さらなる学業継続の励みとなるよう実施されたものです。

○対象学科におけるインターンシップの実施

国際ホテル科において、インターンシップを実施しました。学生は職場体験を通じて、

実社会で求められる知識・技能への理解を深め、即戦力として活躍できる力を養う機会としました。

○各種表彰の実施

年度末には、学業成績の優秀な学生や、年間を通して無遅刻・無欠席を達成した学生に対し表彰を行いました。これにより、学生の努力を称えるとともに、規律ある学習態度の醸成を図りました。

■広報活動

○学生募集活動

本学では、多様な国・地域からの留学生受け入れを推進するため、国内外において積極的な募集活動を展開しました。海外においては、各国・地域への出張を積極的に実施し、現地の教育機関や日本語学校等との連携強化を図るとともに、本学の教育内容や進学環境について広く情報発信を行いました。

また、国内においてもオープンキャンパスや授業体験、進学説明会等を通じて本学の魅力を発信し、入学希望者との接点拡大に努めました。さらに、遠方に居住する入学希望者に対しては、Zoom や LINE を活用したオンライン説明会や個別相談を継続的に実施し、時間や地域の制約を受けることなく進学情報を提供できる体制を整えました。

これらの取り組みにより、本学は引き続き 40 カ国を超える国・地域から学生を受け入れる国際色豊かな学習環境を維持し、多国籍な学生募集の推進と国際化のさらなる充実を図ることができました。

○ホームページの継続的な改善・充実

前年度に実施したホームページの全面リニューアル後も、利用者の利便性向上と本学の魅力発信の強化を目的として、継続的な更新・改善に取り組みました。特に、学科・専攻に関する情報発信の充実を図るため、英語科ページの刷新を進め、教育内容や特色、学生の活動状況などをより分かりやすく伝えられるよう内容の見直しを行いました。

また、ホームページ全体についても最新情報の掲載やコンテンツの更新を継続的に実施するとともに、SNS を活用した情報発信との連携を強化し、国内外の受験生や地域社会に向けて、本学の教育活動や取り組みを積極的に発信しました。その結果、ホームページへのアクセス数は引き続き堅調に推移し、本学への関心喚起と情報発信力の向上につながりました。

○学外広報活動の推進

本学では、式典や各種イベント、教育活動の様子を収めた動画コンテンツの制作・配信を継続し、SNS やホームページを活用したタイムリーな情報発信に努めました。また、学内外の活動や学生の取り組みを積極的に紹介することで、本学の魅力を広く発信しました。

さらに、地域との連携を重視し、地域イベントへの参加や各種団体との協力事業を積極的に推進しました。引き続きキッザニア福岡のオフィシャルアクセラレーターとして活動を支援するとともに、地域貢献活動や協賛事業にも継続して取り組み、地域社会との交流を深めました。

加えて、近隣高等学校との交流活動にも力を入れ、学校訪問やイベント交流等を実施することで、高校生に本学の教育内容や特色を直接伝える機会を創出しました。これらの

取り組みを通じて、地域とのつながりを一層強化するとともに、本学の認知度向上と教育活動への理解促進を図ることができました。

■学校の持続的成長

○自己評価・点検の実施

本学では、自己評価および点検を継続的に実施し、設定した目標や具体的計画に対する進捗状況を検証するとともに、教育活動の成果や課題を明確化しました。その結果を基に、学校運営の改善および発展に取り組みました。

○学生アンケートの実施

授業内容や学校運営、学生サポートに関する学生アンケートを実施し、学生の意見や実情を把握しました。得られた結果は、学生支援の充実と教育環境の改善に反映させました。

○人事評価報酬制度の継続

2021年4月より導入した人事評価報酬制度の更新を行い、より職員の業務成果を公正に評価できるよう改良を行い、職員のエンゲージメント向上に取り組みました。これにより、組織全体のモチベーション向上と業務の質的改善を図りました。

○ボランティア活動の推進

地域社会とのつながりを深めるため、外部団体や地域組織が主催する交流活動やボランティア活動に関する情報提供を積極的に行い、学生および教職員の参加を促進しました。また、地域イベントや交流事業への参加機会を紹介するとともに、関係団体との連携を図りながら、学生が地域住民や多様な世代の方々と交流できる機会の創出に努めました。これらの活動を通じて、社会貢献意識やボランティア精神の醸成を図るとともに、地域社会との連携強化に取り組みました。

今後も、地域や関係機関との協力体制を維持・発展させながら、学生が主体的に社会貢献活動に参加できる環境づくりを推進してまいります。

3 財務の概要

2026年（令和8年）3月末日現在の財務状況を下記のとおり報告いたします。

『財産目録及び貸借対照表』

財産目録 (令和8年3月31日現在)

I 資産の部	科目	本年度末	備考
固定資産			
有形固定資産			
	土地	89,410,000	
	建物	128,229,358	定額法
	構築物	43,953	旧定率法 0.074%
	教育研究用機器備品	489,260	定額法
	管理用機器備品	297,532	定額法
	図書	2,122,374	
	建設仮勘定	15,125,000	
特定資産			
	第2号基本金引当特定資産	200,000,000	
その他の固定資産			
	電話加入権	460,600	
	施設利用権	850,000	
	ソフトウェア	0	
	保険積立金	11,191,950	
	敷金	10,000	
	出資金	2,010,000	
流動資産			
	現金預金	575,972,713	
	未収入金	1,122,400	
	短期貸付金	620,000	
	有価証券	34,120,526	
	前払金	8,155,595	
	立替金	1,230,208	
	仮払金	71,303	
資産の部合計		1,071,532,772	
II 負債の部	科目	本年度末	備考
流動負債			
	短期借入金	346,225	
	未払金	7,978,285	
	預り金	21,056,636	
	前受金	367,421,610	
負債の部合計		396,802,756	

令和7年度 貸借対照表 令和8年3月31日 (単位：円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	450,240,027	225,996,384	224,243,643
有形固定資産	235,717,477	212,275,490	23,441,987
土地	89,410,000	89,410,000	0
建物	128,229,358	119,558,797	8,670,561
構築物	43,953	47,433	-3,480
教育研究用機器備品	489,260	725,472	-236,212
管理用機器備品	297,532	411,414	-113,882
図書	2,122,374	2,122,374	0
建設仮勘定	15,125,000		15,125,000
特定資産	200,000,000	0	200,000,000
第2号基本金引当特定資産	200,000,000		200,000,000
その他の固定資産	14,522,550	13,720,894	801,656
電話加入権	460,600	460,600	0
施設利用権	850,000	850,000	0
ソフトウェア	0	45,144	
保険積立金	11,191,950	10,314,150	877,800
敷金	10,000	41,000	-31,000
出資金	2,010,000	2,010,000	0
流動資産	621,292,745	708,994,424	-87,701,679
現金預金	575,972,713	662,323,064	-86,350,351
未収入金	1,122,400	1,122,400	0
短期貸付金	620,000	650,000	-30,000
有価証券	34,120,526	34,120,526	0
前払金	8,155,595	6,746,709	1,408,886
立替金	1,230,208	3,960,208	-2,730,000
仮払金	71,303	71,517	-214
資産の部合計	1,071,532,772	934,990,808	136,541,964
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
流動負債	396,802,756	354,716,242	42,086,514
短期借入金	346,225	346,225	0
未払金	7,978,285	5,634,579	2,343,706
預り金	21,056,636	20,440,378	616,258
前受金	367,421,610	328,295,060	39,126,550
負債の部合計	396,802,756	354,716,242	42,086,514
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金			
第1号基本金	487,338,590	472,213,590	15,125,000
第2号基本金	200,000,000		200,000,000
基本金合計	687,338,590	472,213,590	215,125,000
繰越収支差額			
翌年度繰越収支差額	-12,608,574	108,060,976	-120,669,550
純資産の部合計	674,730,016	580,274,566	94,455,450
負債及び純資産の部合計	1,071,532,772	934,990,808	136,541,964

『活動収支計算書』

事業活動収支計算書
令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで

(単位：円)

		科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	575,177,378	558,574,209	16,603,169
		手数料	10,527,600	16,591,625	-6,064,025
		寄付金	0	0	0
		経常費等補助金	0	1,157,000	-1,157,000
		雑収入	3,230,400	4,260,300	-1,292,220
		〔教育活動収入計〕	588,935,378	580,583,134	8,352,244
	事業活動支出の部	人件費	289,001,811	286,485,138	2,516,673
		教育研究経費	130,610,504	115,113,517	15,496,987
		管理経費	88,566,640	85,310,420	3,256,220
		〔教育活動支出計〕	508,178,955	486,909,075	21,269,880
教育活動収支差額		80,756,423	93,674,059	12,917,636	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	3,000	781,391	-778,391
		その他の収入	0	0	0
		〔教育活動外収入計〕	3,000	781,391	-778,391
	事業活動支出の部	借入金等利息	0	0	0
		その他の支出	0	0	0
		〔教育活動外支出計〕	0	0	0
教育活動外収支差額		3,000	781,391	-778,391	
〔経常収支差額〕		80,759,423	94,455,450	-13,696,027	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	0	0	0
		〔特別収入計〕	0	0	0
	事業活動支出の部	資産処分差額	0	0	0
		その他の特別支出	0	0	0
		〔特別支出計〕	0	0	0
特別収支差額		0	0	0	
〔予備費〕		0	0	0	
基本金組入前当年度収支差額		80,759,423	94,455,450	-13,696,027	
基本金組入額合計		0	-215,125,000	215,125,000	
当年度収支差額		80,759,423	-120,669,550	201,428,973	
前年度繰越収支差額		0	108,060,976	-108,060,976	
翌年度繰越収支差額		80,759,423	-12,608,574	93,367,997	

(参考)

事業活動収入計	588,938,378	581,364,525	7,573,853
事業活動支出計	508,178,955	486,909,075	21,269,880

監査報告並びに意見書

学校法人 福岡成蹊学園・福岡外語専門学校の令和7年4月1日から令和8年3月31日まで会計年度の監査を令和8年6月1日に実施した結果を次の通り報告します。

1. 令和7年4月1日から令和8年3月31日までにおける会計制度の整備及び運営の状況は妥当であり、収支計算は、学校法人会計基準に準拠して行われており、かつ計算書類の表示方式は学校法人会計基準に準拠しており、計算書類は当年度末日現在の財政状態及び当年度の運営状況を適正に表示しているものと認める。
2. 理事の職務遂行に関し、不正の行為または法令もしくは寄付行為に違反する事実は認められない。

よって、このことを連署してここに報告する。

令和8年6月1日

監事

倉重一男

監事

廣田 稔